



事務局

会長	大原 久和
副会長	森田 亨・廣岡由起子
会計責任者	宮林 康自
監事	西田 武史・森田 幸一
事務局長	金 正和
事務員	中島恵美子
広報委員	中島 教芳・福永 光代 山下 真智子・
支援職員	松岡 知子・市川 幸弘
相談役	中島 教芳

平成31年度委員名簿

区長 代議員

櫛野	島岡 保	嶋岡市雄・山下康雄・山本佳一郎
神	井用 敏昭	廣岡正光・堅田哲五・村山和子 村山恵津子・野口弘美
大原上田	中井 武司	林口義久・井場敏之・井場やえ子
大久保	谷 朝雄	西田康晴・茂田一郎・中島常幸
大原中	安田 肇	井村正継・西田道義・井村 修 大川原 保・三日月統治
拝坂	山本 邦夫	奥本玲子・廣瀬茂樹・田中光雄 吉治孝和
鳥居野	立岡 栄輝	松本茂雄・藤橋立美・池之内直樹 増井富之
相模	大原信治郎	松岡富治・中島 茂・玉木増一 松岡篤史
大原市場	中井 守男	西谷弘光・大矢久幸・田嶋信義 安田米次・藤江康弘
高野	田畑 茂彰	大原 学・奥山盛司・吉田 均

プロジェクトメンバー

見守りPJ	氏名	氏名
	◎雲 哲雄	◎大原 久和
	○廣岡由起子	○西村 俊昭
	奥本 玲子	井村 龍造
	井村 龍造	松本 勝
	中島 節子	雲 哲雄
	松本 勝	田中 勇
	難波 健吉	金 正和
	奥山 清美	廣岡いづみ
	金 正和	中島 教芳
伴 秋雄	担当：大原 久和	
松岡 篤史		
井場 弘司		
担当：廣岡由起子		

若者PJ	氏名	氏名
	◎畑中 一基	◎東 重幸
	○奥山 清美	○前川 美一
	西村 俊昭	中井 大
	雲 哲雄	鈴木 一司
	中島 節子	廣瀬 茂樹
	林 幸世	雲 哲雄
	中島 和彦	森田 幸一
	中島 香	松岡 篤史
	中川 淳	中村 政一
	中村 卓也	大原 克彦
	中尾 英俊	福田 仁美
	百田 淳奈	中川 直樹
	辻 康幸	大原 幸子
	廣岡 優子	竹中島 勝
八里 照代	林 幸世	
松岡 篤史	中島 教芳	
担当：森田 亨	担当：金 正和	

(敬称略)

専門部会委員 ◎ 部長 ○ 副部長

区名	健康福祉部	地域振興部	生活環境部	教育文化部
櫛野	九里 敏樹	西野尾和宏	西野尾敦士	東 斐彦
神	福永 佳隆	中島 常浩	◎清水 英明	廣岡 孝幸
大原上田	谷 忍り子	山出 忠彦	福田 重通	家森 康和
大久保	○前川ひろ美	中島庄一郎	藤江 通治	大原 民男
大原中	西田 恒夫	渡邊 敏弘	吉田 正	中田 勝治
拝坂	辻 貴美恵	◎荒川 巖	藤岡 正平	○増山 貴広
鳥居野	奥村 好美	平井 博	加藤 善久	雲 義明
相模	林田 博英	玉木千代美	林田 圭史	林田 孝弘
大原市場	富田 幸夫	○辻 節子	○中井 博美	福永 豊
高野	高田 悦子	奥山ルリ子	奥山 善之	◎奥山 仁司
各種団体	(ゆうゆうクラブ連合会) 平田 征夫 (民生委員児童委員)	(愛林クラブ) 竹中島真博 (観光協会)	(ゆうゆうクラブ連合会) 奥村 昇二 (消防団第1分団)	(人権教育推進協議会) 市岡 泰彦 (大原小学校PTA)
	◎難波 健吉 (日赤奉仕団)	大原 克彦 (神みぞ加工グループ)	中井 大 (大原小学校PTA)	森口 三義 (大原にこにこ園保護者会)
	奥島ひろ子	廣岡 慶子	福永 茂門	松本 歩美 (文化協会)
				西谷 輝昭 (青少年育成市民会議)
担当役員	廣岡由起子	大原 久和	金 正和	森田 亨



草津線が開通したのは1889年、大原駅(現甲賀駅)が設置されたのは1904年、日露戦争の年でした。日本の近代化の波は、こんな田舎にも早々と訪れていたのです。平成の時代、甲賀駅や油日駅は忍者をモチーフとした駅舎に改築されました。2017年に甲賀忍者が日本遺産に、今年3月に、甲賀市がシンガポールパラリンピック選手団のホストタウンに認定され、2021年には鹿深夢の森で全国植樹祭が開催されることが決定されました。国内外からの訪問者が増えることが予想されます。トリックアートや忍者の像は、「インスタ映え」する絶好の宣伝材料となるでしょう。

大原久和新会長の挨拶 平成31年度大原自治振興会総会開催



9年目となる大原自治振興会を総合的に見直すとともに、協働の柱となる自治区や行政との連携を強化し、すべての関係者が一堂に会して課題の共有とそれぞれの役割を話し合う「円卓会議」の推進と拡大を図ります。イベント型優先から課題解決型事業を重視して取り組みます。また、同じ課題を持つ他の自治振興会や同じ課題に取り組む甲賀市社会福祉協議会の甲賀地域ご近所福祉協議会とも密に連携協働していきたいと思っています。

5月18日、甲賀大原地域市民センターにて、標記定期総会が開催されました。前年度から新たに取り組んだ、区入りされていない方の居場所づくりや子ども食堂は、好調に進んでいます。今年度の計画では、部会からは、継続事業をベースに安心・安全、歴史、観光の分野の事業計画が起案され、プロジェクトからは、前年度の課題の検討と今年度の実行計画が起案され、承認されました。



大原自治振興会の基本方針

【事業展開】

- アンケート結果での住民の声、地域ニーズを反映して取り組む
- 人権の視点を基本とした、誰でも参加可能な事業形態を追求をする
- 課題解決のため取り組み提案を専門部会・プロジェクトで企画・立案し、協働で取り組む
- 自治区よりの「手上げ方式」を事業展開する

【今年度の課題】

1. 連携と協働の推進
(自治区、行政、任意団体、市内振興会等)
・振興会の目的達成へ、他を巻き込んだ活動をする
2. イベント型から課題解決型への軌道変更
・部会別課題(アンケート結果)解決への取組見直しをする
3. 自治区への広報の強化
・自治区(区長)へ「毎月取組情報」の発信
毎月10日を締め、部会・PJ取組活動の発信(議事録、実施結果等)
4. 2021年全国植樹祭への対応
・里山整備を含めた環境保全への取組をする

【会議体】

- ・専門部会合同会議 4月
- ・総会 5月 代議員
- ・会員交流会 5月～6月
- ・部会・PJ月例会議 4月～3月
次年度計画1月～3月
- ・部会・PJ合同会議 8月、11月、3月

平成30年度収支決算 平成31年度収支予算

収入の部	決算	予算
市交付金	8,076,000	8,033,000
前年度繰入金	0	0
前年度繰越金	637,118	653,000
諸収入	241,295	31,000
収入合計	8,954,413	8,717,000

(単位：円)

支出の部	(単位：円)	(単位：円)
総務費	930,707	1,061,000
事業費	3,302,122	3,600,000
区活動振興交付金	1,587,000	1,572,000
区活動事業交付金	2,482,000	2,484,000
次年度繰越金	652,584	
市払戻金	0	
支出合計	8,954,413	8,717,000

(単位：円)

健康福祉部 部長 難波健吉



おそらく私たちは、他人にご迷惑をかけない様、心身ともに健康で、毎日楽しく過ごしたい事を願っていると思います。その願いに少しでもお役に立てればと、各事業を計画しましたので多くの方のご参加を宜しくお願いいたします。

1. サロンスタッフ交流会 6月29日
2. 健康講座
スポーツ又は講演会 9月～10月
3. 100万歩運動
1日8500歩を目指して 9月1日～12月31日
4. 救急救命講座
救急救命に関する講習会又は講演会 10月～11月
5. 大原ふるさと再発見
歴史探訪ウォーキング 11月上旬(地域振興・教育文化部会との共同事業)

地域振興部 部長 荒川 巖



故きを温ねて新しきを知る。山を守り木々を育み水を守る。大変な苦勞を重ねて来られた、先人の思いや行いを少しでも知り、皆様のご協力を頂きながら、各事業を通して未来に少しでも伝え残せるお手伝いが、出来る様にと考えております。

1. 大原ふるさと再発見 11月上旬
2. 文化財整備事業
史跡看板の設置(1ヶ所) 1月～3月
3. 里山・地域景観整備
里山整備と観光スポットの環境美化 各区の希望による
4. 上下流域交流
下流域住民との森づくり交流(愛林クラブとの共催)7月28日
5. 観光推進
観光スポットとルート&ホテルマップの増刷配布 7月中旬
甲賀駅での観光スポット展示等の検討 8月
6. その他 ・地域の古地図情報収集と活用の検討
2021年春全国植樹祭(鹿深夢の森)

生活環境部 部長 清水英明



火災発生時、市内から消防が現場に来た場合、防火水槽の位置が容易にわかる必要があります。今年度は、防火水槽の表示板の調査をし、改善へ検討してきたいと思います。

1. 防犯灯維持管理
防犯灯のLEDへの交換各区2基、または新規1基
2. 花いっぱい
夏に咲く花800株 甲賀駅北ロータリー植込み(7月)
葉牡丹紅白等の冬花を各区に支給(11月)
春に咲く花800株 甲賀駅北ロータリー植込み(2月)
3. 生活道路の安全
生活上の安全確保のための対応
飛び出し忍者各区1枚配布、各区PTA設置
4. 防火水槽位置表示
他所の消防団員にも分かりやすい表示板等の調査

教育文化部 部長 奥山仁司



今年度も継続事業として、植林やシイタケ植菌、木工体験などを通じて大原小学校の活動を支援します。また、子供たちにふるさと甲賀をよく知ってもらうために忍者体験ツアーなどを計画します。

1. 小学校人権研修会
講演後の地区懇のテーマに入れる。6月25日(火)
2. 忍者体験学習
児童と親子グループ・一般グループに編成して実施。
3. 大原小学校自然体験学習
植林活動、マイクロバス、ヒノキ材を使って卒業記念製作、シイタケ植菌活動
4. おおはら親子教室
親子及び地域との交流を図る事業
5. 大原ふるさと再発見 11月上旬

見守りプロジェクト 部長 雲 哲雄



これまでの取り組みで、命のバトンの拡張については、大原内で5区が全戸配布になるなど随分浸透してきました。今年度は、免許証返納後や、近くに買物をする店が無い人達が、いつまでも生き生きと暮らせるように、交通弱者の買物支援事業に取り組んでいきます。

1. 命のバトンの拡張
平成30年度からの継続、更新も含め、もっと広げていく。
2. 見守り・買物支援
買物支援モデル地区の依頼
各区を回り、先進区の現状と見守りの必要性を説明。
3. 研修会
先進地への視察、仕組みづくりの勉強会
4. 「スマイル甲賀」活動・運営
自治会非加入高齢者の見守りサロン「スマイル甲賀」
大原学区の子ども食堂「スマイル甲賀」大原っ子
外国籍の方との交流

防災プロジェクト 部長 東 重幸



迫り来る災害に備える防災プロジェクトチームが発足し4年経過しました。近年の凶暴化した集中豪雨や台風、明日に発生するかもしれない南海トラフ地震等々への備えは身近な課題となり、日頃からの備えが叫ばれています。

今年は防災マニュアルの発行や避難所開設訓練を中心に活動いたします。多くの方々のご参加をよろしくお願いいたします。

1. HUG研修(避難所運営訓練)
プロジェクト内で訓練実施後、学区内で訓練実施
2. 防災マニュアル
防災マニュアルの印刷(1000部程)

若者プロジェクト 部長 畑中一基



今年度より【こうか駅前マルシェ】から【こうかマルシェ】に名称変更し、基本会場が鹿深夢の森に変わります。

このマルシェも9月で3年目になり、これからの継続や内容も協議し、出店者様や来場者様に甲賀の交流の場としてより良いものにしていこうと思います。また、新たな事業として婚活事業を進めて参ります。



1. 婚活
先進地から活動ポイントを学ぶ
2. こうかマルシェ
持続可能にするために他組織との協働、やり方の見直し等を行いながら継続

まちづくりプロジェクト 部長 大原久和



4プロジェクトの内、まちづくりプロジェクトは、防災プロジェクトや見守りプロジェクトが企画するためのベースラインを設定すべく、地域へのアンケート調査や聞き取り調査による実態把握を検討資料に入れながら、課題解決のため行政や自治区、専門機関などからなる円卓会議をおこないます。

1. 大原まちづくり活動報告会
自治振興会&連携団体の活動報告会(2月頃)
2. 市長懇談会
協働まちづくりの成果と今後の取組(9月頃)
3. 区長との意見交換会
自治振興会の活動について意見交換会(4月頃)
4. 協働のまちづくり円卓会議(毎月1回程度)
①見守り円卓会議 協働の取組について検討
②防災円卓会議 協働の取組について検討
③交通弱者円卓会議 買い物ツアーを検討
5. 推進体制の改善
勉強会を開催しながら推進体制の改善方法を10月頃までに検討

まちづくり研修

自治振興会の優先すべき重要テーマについて研修会を開催

広報委員会

広報誌の発行と事業報告
広報誌おおはら 年4回
月次レポートによる事業報告

